
令和7年度

安曇野市一般会計当初予算の概要



朝が好きになる街

安曇野

総務部 財政課

令和7年度 一般会計当初予算の概要

1 予算編成の基本方針

令和7年度は第2次安曇野市総合計画・後期基本計画が策定されてから3年目を迎え、令和9年度までを計画期間とする後期計画の中間年の年となる。

そのため、安曇野市が目指す将来ビジョンである「自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野」を実現すべく、これまでの進捗状況を十分に検証したうえ、各施策を着実に進める必要がある。

また、令和6年5月、国の「SDGs未来都市」に選定されたことを契機に、持続可能な社会のため、より一層、具体的な取組みが求められている。

そのためにも、地域の魅力や強みを生かすべく、重点的・組織横断的に取り組む「価値創出プロジェクト」の推進など、着実な事業展開が必要である。

一方、財政面においては、新たな事業に着手する中でも、財政の健全度を示す各種指標に大きな変動はなく健全財政を維持できているが、引き続き、市税収入や国・県の財政措置の的確な見極めが必要であり、激変する社会情勢を考慮すると、突如として厳しい財政運営を強いられることも想定しておかねばならない。事業の選択と集中はもとより、歳入歳出両面における財源確保の徹底した取組みが求められる。

これらを踏まえて、市民一人ひとりがここに住むことに幸せを感じ、市外在住の方には憧れを抱いていただけるまちづくりを進めるため、本方針に沿って取組みを進めるものとする。

2 予算の総額

令和7年度当初予算額	502億5,000万円
(内、借換債分	13億9,440万円)

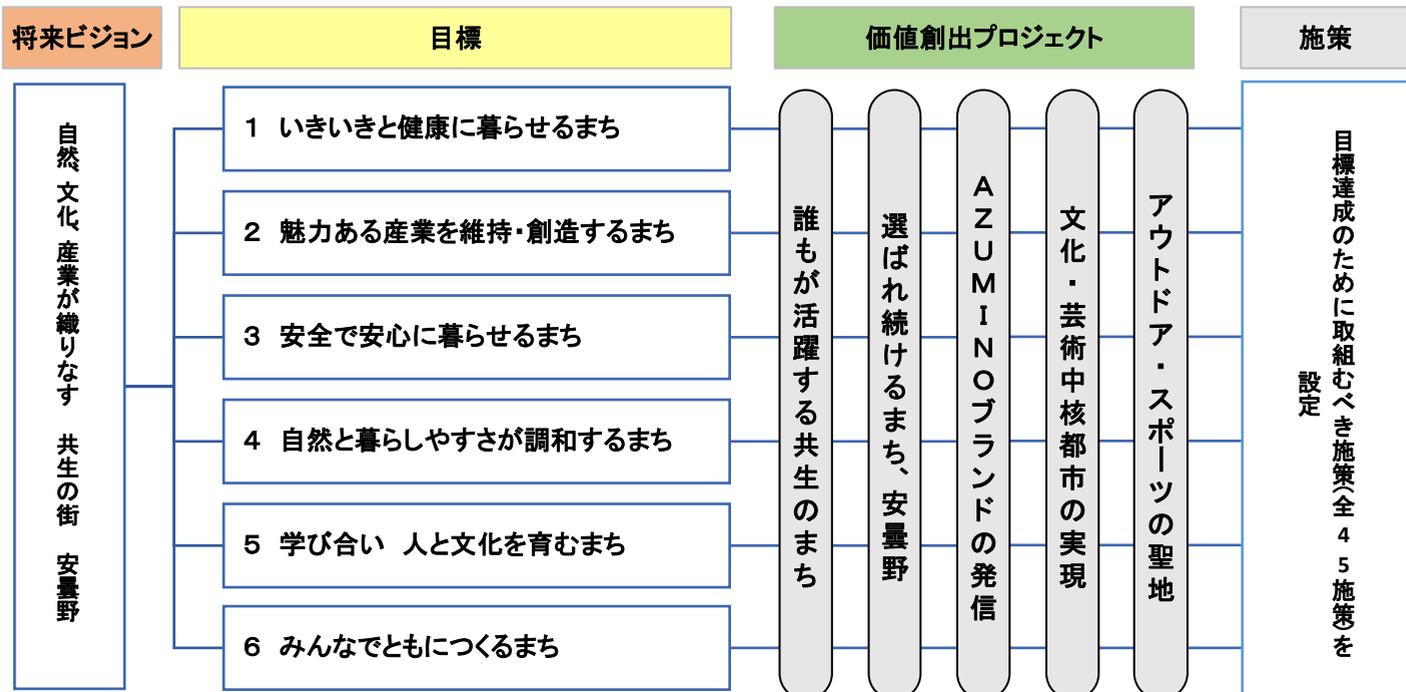
令和6年度当初予算額	489億3,000万円
(内、借換債分	28億800万円)

対前年度比	13億2,000万円増 (2.7%増)
-------	------------------------

3 令和7年度 重点事業

市では、総合計画に掲げた将来ビジョンの実現に向け、施策横断的に取り組むこととしている「価値創出プロジェクト」に紐づく事業、および地域課題の解決や市民サービスの向上のための主要な取組を令和7年度の重点事業として取組みます。

総合計画後期基本計画 施策体系（概略）



価値創出プロジェクトとは

総合計画後期基本計画に掲げた将来ビジョン達成のため、組織横断的に注力する施策で、以下の5つのテーマを「価値創出プロジェクト」として設定しています。

誰もが活躍する共生のまち

- 互いの違いを認め合い、様々な人が活躍することのできるまちを目指す
- 「誰一人取り残さない」という理念のもとプロジェクトを推進する

選ばれ続けるまち、安曇野

- 地方共通の課題である、人口減少、少子高齢化への対策を講じる
- 関連施策が多岐にわたるため、優先度の高い事項に財源と人的資源を集中投下

AZUMINOブランドの発信

- 各部門が有する安曇野の価値を「戦略をもって」国内外へ売り込む

文化・芸術中核都市の実現

- 安曇野が誇る歴史文化、芸術を生かし、文化・芸術の「拠点」を目指す

アウトドア・スポーツの聖地

- 豊かな自然環境を活用した各種スポーツを推進
- 多様なジャンルを組み合わせ発信、様々な層に安曇野の魅力を伝える

総合計画後期基本計画の目標ごとの主な重点事業

※凡例： 価…価値創出プロジェクト該当事業／新…新規事業／拡…拡充事業

【将来ビジョン】

自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野

1 いきいきと健康に暮らせるまち

新	堀金福祉センター改修事業 (長寿命化工事の設計)	2,205万1千円	
新	三郷社会就労センター改修事業 (長寿命化工事の設計)	817万8千円	
価 拡	母子・子育て支援事業 (1か月児健康診査の実施、両親学級(パパママ教室)開催、オプション新生児スクリーニング検査費用助成など)	1億1,769万9千円	(R6:1億424万2千円)
	福祉医療費給付事業 (子ども(0~18歳)の福祉医療費の窓口負担(1レセプトあたり500円)の無料化など)	7億4,774万2千円	(R6:7億352万1千円)
新	豊科認定こども園改修事業 (照明のLED化やプールの改修など)	1億5,032万6千円	
	三郷東部認定こども園建設事業 (園舎建設工事の完了)	10億5,992万1千円	(R6:4億8,394万9千円)

2 魅力ある産業を維持・創造するまち

価 拡	農産物等販路拡大事業 (首都圏、関西圏での農作物販売PR、シンガポールでの農作物プロモーションやインバウンドツアーなど)	2,631万2千円	(R6:2,503万8千円)
価	農業・農村計画事業 (第4次農業農村振興計画(R9~)策定に向け着手など)	1,466万7千円	(R6:925万9千円)
拡	森林経営管理等整備事業 (民有林の森林整備に必要な経費に対する補助など)	5,298万6千円	(R6:3,690万5千円)
新 価	林道長峰線改良事業 (林道長峰線の部分拡幅工事など)	6,065万6千円	
価 拡	しごと創出事業 (中小企業奨学金返還支援補助金及びリモートワーカー活用事業補助金の新設など)	2,060万5千円	(R6:1,882万8千円)
価 拡	商業事業者支援事業 (空き店舗等活用促進事業補助金、商業系省エネ・ゼロカーボン推進事業補助金、創業支援事業補助金の新設など)	2,130万円	(R6:1,241万円)
価 拡	企業サポート事業(経営支援・事業者間連携支援) (市内事業者のHP・SNS発信等のWEBマーケティング強化・経営支援、オープンファクトリー事業実施など)	1,539万6千円	(R6:663万3千円)
価	来訪者受入環境整備事業 (観光パンフレット(安曇野ひがし山トレッキングガイド)作成など)	1,558万8千円	(R6:2,245万1千円)
価	登山道等整備事業 (北アルプス登山道駐車管理システムの充実、長峰登山口駐車場整備など)	7,560万4千円	(R6:7,544万1千円)
価	観光イベント事業 (安曇野アップルハロウィンイベント(東山活用イベント)の開催など)	1,580万7千円	(R6:983万1千円)
価 拡	観光プロモーション事業 (台湾教育旅行誘致によるインバウンドの推進など)	3,689万3千円	(R6:4,910万9千円)
価	東部アウトドア拠点整備事業 (前川カヌーコースの設計・工事、公園・拠点施設の基本設計など)	1億3,922万1千円	(R6:5,890万9千円)

3 安全で安心に暮らせるまち

防災行政無線設備新設・更新事業 1億8,235万3千円 (R6:2,031万9千円)
(防災行政無線(同報系)の親局設備の更新など)

拡 災害対策事業 2,041万6千円 (R6:1,452万円)
(災害対策用備蓄品や災害発生時における迅速対応に資する被災者生活再建支援システムの導入など)

内水対策事業 1億4,565万円 (R6:1億3,800万円)
(万水川下流域における内水被害軽減のための排水路整備)

4 自然と暮らしやすさが調和するまち

拡 地球温暖化対策事業 2,824万4千円 (R6:2,213万4千円)
(地球温暖化対策設備設置補助の拡充(電気自動車(EV)補助)など)

拡 地域脱炭素化推進事業 2億3,167万2千円 (R6:1億7,193万1千円)
(公共施設へ屋根置など自家消費型太陽光発電事業の推進、バイオマス燃料を市内温浴施設等へ供給するなど)

水資源対策事業 3,049万7千円 (R6:3,077万1千円)
(アルプス地域地下水保全対策協議会による地下水位一斉測水調査の実施など)

新 合葬墓造成事業 198万4千円
(穂高墓地公園内への合葬墓建築工事の実施設計)

価 拡 移住定住推進事業 6,043万7千円 (R6:3,318万4千円)
(移住ポータルサイトのリニューアルによる情報発信の強化など)

市道新設改良事業(松糸道路関連) 6,750万円 (R6:2,710万円)
(アクセス道路の補償調査など)

拡 公共交通事業 1億7,322万円 (R6:1億7,262万4千円)
(山岳バス(三股線登山口バス)の実証運行など)

価 空家等対策事業 7,978万6千円 (R6:5,477万1千円)
(空家戸数実態調査、空家等管理活用支援法人の指定、地域おこし協力隊による明科地域の空家掘り起しと活用促進など)

公園施設長寿命化事業 2億6,044万6千円 (R6:2億4,052万円)
(豊科南部総合公園テニスコート照明LED化事業など)

5 学び合い 人と文化を育むまち

価 小説「安曇野」による地域振興事業 311万6千円 (R6:740万9千円)
(若者に向けた動画作成など)

国民スポーツ大会実施運営事業費 812万2千円 (R6:111万6千円)
(2028年に長野県内で開催される国民スポーツ大会に向けた準備:穂高総合体育館床補強工事、空調設置工事設計など)

価 スポーツ教室等開催事業 1,765万円 (R6:1,452万9千円)
(前川ウォータースポーツ体験会、ウォータースポーツ合宿の開催など)

豊科近代美術館大規模修繕工事業 4億5,045万円 (R6:3億688万7千円)
(大規模改修工事)

価 新市立博物館準備事業 498万2千円 (R6:62万8千円)
(新市立博物館方針の検討)

黒沢洞合自然公園整備事業 1億9,950万2千円 (R6:7,262万9千円)
(公園整備工事)

6 みんなでともにつくるまち

価 人権啓発費 1,823万5千円 (R6:1,972万9千円)
(令和7年度安曇野市共生社会×文化芸術フェスタの開催など)

新 総合計画等策定事業 17万5千円
(第3次総合計画策定に向けた準備)

新 人権集会所解体事業 490万4千円
(穂高・堀金人権集会所解体工事の設計)

令和7年度 価値創出プロジェクトの主な事業

プロジェクト【誰もが活躍する共生のまち】

◆外国籍の方への支援

安曇野市では外国籍市民の増加に伴って、日本語の会話や文字に不自由な外国籍市民も少なくないことから、生活に必要な情報（ごみ・資源物収集カレンダー、母子手帳など）の外国語版を作成し、配布しています。

また、日々の生活での困りごとを相談できる「外国籍市民相談窓口」を運営する他に、多言語映像通訳のタブレットを設置した窓口を設けるなど、「言葉の壁」による相談のしづらさの解消を図っています。市内の小中学校では、支援員による日本語の学習支援を行っている他、中学生を対象にオンラインによる日本語学習支援の環境も整え、早期に学校の授業に適應できるよう支援しています。

- ・外国籍市民相談窓口運営事業（699万7千円）
- ・外国籍生徒への日本語支援（128万6千円）



英語、中国語、ポルトガル語が話せる相談員と映像通訳等により、20の言語と「やさしい日本語」で対応。



オンラインで日本語の学習をする外国籍生徒

◆市民・職員の共生意識向上に向けた取り組み

例年実施している「共生社会づくりフォーラム」を、令和7年度は「あづみの国際 DAY」と合わせた「共生社会づくりフェスタ」として開催します。音楽・アート・ダンスなどの「文化芸術」を掛け合わせて、異なるバックグラウンドを持つ多様な人々が互いに交流する場にし、参加者一人ひとりの共生社会の担い手としての意識向上を図ります。

また、「ユニバーサルデザインの安曇野市役所」の実現のため、個々の職員が「自分とは違う誰かの視点に立ち行動できる職員」となれるよう、高齢者や障がい者への基本的な向き合い方やお声掛け方法などを学ぶ職員研修を開催します。

- ・共生社会づくり×文化芸術フェスタ（302万4千円）
- ・ユニバーサルデザイン啓発事業（55万円）

◆公園施設のユニバーサルデザイン化の加速

多くの方が利用する公園施設のユニバーサルデザイン化を進めるため、安全・安心に利用できるトイレのバリアフリー化を優先的に実施しています。

公園遊具更新の際は、インクルーシブ遊具を積極的に導入していきます。

・トイレのバリアフリー化【室山アグリパーク、下長尾公園】

(8,327万5千円)

令和5年度に実施した公園トイレのバリアフリー化（穂高 町尻公園トイレ）

【改修前】



【改修後】



男女、バリアフリートイレと3つのブースに分かれた。



バリアフリートイレ内部の様子。十分な広さが確保され清潔感もアップしている。

インクルーシブ遊具の一例



ブランコ（円盤型）



ブランコ（バケツ型）



振動系遊具

プロジェクト【選ばれ続けるまち、安曇野】

◆安曇野市の若者が地元で働きたいと思うこと

将来の就業人口確保のため、地元企業の魅力を発信する啓発事業を行います。

若年層のUIJ ターンの呼び水として、大学生を対象としたオープンファクトリー事業を開催します。都内学生、県内学生に向けて、地元企業の見学バスツアーを企画しています。

キャリアフェスティバルでは、市内全中学校（7校）の1年生を対象に仕事内容ややりがいを生徒に対し紹介します。多くの市内企業に参加いただき、地元企業との交流の場を企画しています。

また、少子化や近年の民間人気の高まり等により、必要な市役所職員数の確保が困難になってきています。職員数を確保していくため、受験者数を底上げするテストセンター方式試験を導入します。

- ・オープンファクトリー事業（291万5千円）
- ・キャリアフェスティバル事業（522万3千円）
- ・テストセンター方式試験の導入（48万4千円）



令和6年開催のキャリアフェスティバル。56社もの事業者に参加いただき盛況に開催

テストセンター試験とは

全国各地の試験会場の中から、受験者の希望する会場・日程で試験を実施する方式。従来の集合型の試験と異なり、受験者が日程を選ぶことができ、遠方から試験会場に出向く必要がないため、進学などで県外に出ている学生やIターンなどの受験者の増が期待できます。

◆市内経済活性化に向けた企業誘致としごと創出

北穂高地区に予定している新たな産業団地造成に向けて、官民連携により引き続き企業の誘致活動と用地取得を進めていきます。

この他、地域資源及び市内企業の強みや課題を都市部の企業が持つ技術等とマッチングさせ、地域に根ざした新ビジネスを創出する事業を進めます。

また、市内で新たに起業する個人事業主を対象とした創業支援補助金の新設、育児・介護等により時間に制約がある方のしごと創出施策として、リモートワーカー育成事業に取り組みます。併せて、市内企業にリモートワーカーを活用し地域の労働力不足解消に向けた取組みを進めていきます。

- ・ 産業用地の企業誘致研究 (359万円)
- ・ 地域資源活用ビジネスマッチング事業 (374万円)
- ・ リモートワーカー育成支援事業 (997万2千円)
- ・ 創業支援事業 (1,490万円)
- ・ 中小企業奨学金返還支援事業 (200万円)



北穂高産業団地パンフ。15haの敷地面積となる見込み



リモートワーカー研修の様子

◆移住定住施策の取組み

人口の社会増を目指し、安曇野市の魅力を市内外に戦略的に発信するとともに、移住相談体制を充実させ、移住・定住を推進します。

子育て世代や若者層をメインターゲットにした移住推進プロモーション（WEB、SNS等を活用した情報発信）や安曇野市で生活する魅力を広く伝えるイベントを首都圏で開催し、安曇野市の魅力を訴求するほか、オンラインや出張（東京都・愛知県・大阪府）による移住相談会を開催します。

- ・ 移住定住推進事業 (6,043万7千円)

R6. 9月有楽町国際フォーラム会場で行われた「ふるさと帰郷フェア」での、移住相談の様子。安曇野市ブースには多くの関心が寄せられました。



◆選ばれるための観光PR

安曇野市が、持続可能な観光地として選ばれるよう、水・わさび・自然・景観などの地域資源のPR事業を進めていきます。令和7年度は通常のPR事業に加えて、インバウンド観光客とファミリー層に特化したPRに取り組んでいきます。

大阪関西万博の開催に合わせ、訪日も含めた教育旅行・企業研修向けのSDGs学習プログラムの造成など観光協会と合同で取り組みます。

メタバースを活用した観光プロモーションは、特に若者をターゲットに継続していきます。

インバウンド関係では、近隣市町村に多くのインバウンド観光客が訪れています。安曇野市も観光協会・地域通訳案内士と協力しインバウンド観光客の誘致に取り組みます。

また、台湾への訪日教育旅行PRのため現地での説明会等を行います。

ファミリー層向けのPR事業では、近年企業が行っているCSRの考え方から福利厚生休暇を活用した旅行が活発化しています。そこに注目し、どのように誘致するか研究を進めます。

- ・観光協会への観光事業委託料等（9,475万円）
- ・メタバース活用の観光プロモーション（899万8千円）
- ・インバウンド向け観光誘客事業（330万円）
- ・台湾からの訪日教育旅行誘致事業（282万円）
- ・CSR誘客事業（330万円）



メタバースを活用した観光プロモーションPR画面



安曇野に教育旅行をしてみらおうと台湾の学校関係者にPR



R6親子連れで賑わったCSR事業の様子



インバウンド旅行者に烏川溪谷を案内するガイド

プロジェクト【AZUMINO ブランドの発信】

◆安曇野ナンバーの交付開始

令和4年度に生坂村・池田町・松川村と一緒に立ち上げた「安曇野ナンバー」事業。いよいよ令和7年5月からナンバープレートの交付が始まります。

安曇野ナンバー周知のため、市公用車に図柄入りナンバープレートを導入します。

- ・ 公用車への安曇野ナンバー付け替え事業（1,061万3千円）
- ・ 安曇野ナンバー推進事業（263万4千円）



公募により決まった安曇野ナンバーの図柄

◆安曇野市×あずさマルシェ in LUMINE AGRI MARCHE

例年好評のあずさマルシェ。令和7年度も特急あずさ号を活用し、「ルミネアグリプロジェクト」と連携してJR新宿駅で鮮度のよい農産物を販売します。

9月上旬に実施予定で、安曇野ブランドを首都圏に発信していきます。

（輸送品目りんご、ぶどう、スイートコーンを予定）

- ・ あずさマルシェ事業（231万2千円）



R6 あずさマルシェの様子。市長も自ら地元農産物の説明や販売を行いました。

◆水事業

市の地域資源である「地下水」の保全と活用に関わる施策研究を引き続き進め、麦あと湛水の効果を検証するとともに、令和9年度からの第2次市水環境基本計画策定を進めていきます。併せて水環境保全・普及案内人「あづみの水結」をPRしていきます。

また、松本盆地の地下水は関係市町村で考える必要があることから、松本地域・北アルプス地域での広域協議会において、地域の地下水の現状を把握・共有し、地下水の未来について考えていきます。

- ・第2次安曇野市水環境基本計画の策定（1,276万円（債務負担行為））
- ・広域の「アルプス地域地下水保全対策協議会」の水位調査・計画策定に向けた研修会（87万4千円）



松本盆地の地下水保全について、関係市町村と協力して取り組んでいます。

澄んだ安曇野わさび田湧水群



麦あと湛水を行っている田

◆海外（シンガポール）農産物プロモーション事業

東南アジアのハブであるシンガポールで、「The Japan Rail Fair」への出展を軸に、越境 EC への安曇野市産品の出品、メディアへの情報発信など安曇野産農産物のPR事業を行います。

また、現地バイヤーやインフルエンサーなどを安曇野市に招聘し、安曇野市の農ある風景、農産物をPRするモデルツアーを新たに企画しています。

- ・シンガポール販売促進事業（1,155万円）



R6に訪れたシンガポールでのPRイベントの様子

プロジェクト【文化・芸術中核都市の実現】

◆鐘の鳴る丘集会所でのアーティスト・イン・レジデンス事業

芸術家が宿泊しながら創作活動ができる空間を創設するため、穂高鐘の鳴る丘集会所の改修に着手しており、令和6年度末に完成予定です。

集会所を拠点として、アーティストが安曇野の風土や人の中に身を置きながら創作活動を行う、アーティストとの交流や作品の鑑賞を通して、アーティスト・イン・レジデンス事業を推進します。その活動に生で触れてもらうことで市民の芸術に対する感性が刺激されることを期待しています。

また、芸術作品を創作するためのアトリエや、作品の展示・催事・講座ができるスペースを確保し、近在のアーティストや市民の皆さんにも活用してもらう予定です。

- ・ 鐘の鳴る丘集会所管理運営事業（1,479万4千円）
- ・ 東京藝術大学 AIR 負担金（300万円）
- ・ 京都芸術大学アートプロジェクト負担金（200万円）



穂高鐘の鳴る丘集会所。

芸術系大学からアーティストを招き、滞在しながら創作活動ができるよう改修工事を実施



R6に安曇野市に滞在したアーティスト(アーティスト・イン・レジデンス)が作成した作品(土のポスト)

アーティストが作ったポストに皆さんの思いを書いた手紙を投函し、安曇野高橋節郎記念美術館の庭に埋め、その上に植樹をしました。

アーティストインレジデンス (AIR) とは

主に自治体が行うもので、アーティストを一定期間招聘して、滞在中の活動を支援する事業。

アーティストは、日常と異なる環境に身を置くことで活動に没頭でき、自治体側は市民にアーティストとの交流や体験の機会を提供することができる。



上記の土のポスト制作の様子

◆小説『安曇野』の地元小中学生へのPR

安曇野の名前が全国的に知られることとなった小説「安曇野」。

安曇野に住む大人たちは、この小説の存在を知っている方も多くいますが、子どもたちはどうでしょうか。

そこで、子どもたちがこの小説の存在や生まれた経過について知り・理解し・興味を持ってもらえるよう、わかりやすい解説動画を作成します。

動画は市内小中学校で活用していきます。そしていつか小説「安曇野」を手にとって読んでもらえることを期待しています。

- ・若者向けの紹介動画の作成（220万円）



R6に作成した啓発パンフレット



長編大作の「安曇野」の文庫本

◆豊科近代美術館のリニューアルと記念企画展の開催

安曇野市の芸術文化の拠点となっている「豊科近代美術館」。建築から長期間が経過し老朽化が進んでいることから大規模改修工事を実施しています。大規模改修に併せ「安曇野市美術館」に名称を変更します（令和7年4月1日付）。なお、令和7年8月に完成、9月にはリニューアルオープンの予定です。

リニューアルオープン記念として市制20周年とあづみ野ガラス工房40周年を記念する特別展を計画しており、今までのガラス工房の活動に関わりのある歴代スタッフ、多摩美大学の教授・学生らが作成したガラス作品を一堂に展示する予定です。

- ・豊科近代美術館大規模改修工事業（4億5,045万円）
- ・ガラス工房40年記念兼豊科近代美術館リニューアル記念展負担金（389万5千円）



工事中の豊科近代美術館

プロジェクト【アウトドア・スポーツの聖地】

◆明科地域にアウトドア拠点を整備

明科地域はコンパクトなエリアに川・山・空・歴史があり、自然満喫やアクティビティの体験に適しており、観光面や文化面において非常にポテンシャルが高い地域です。

それらの資源を活かすため、既存施設を効果的に活かしながら、アウトドア拠点施設を整備し、新たな安曇野市の魅力を発掘、発信していきます。

① カヌーを中心としたアウトドア施設の整備

- ・アウトドア拠点施設（センターハウス）の基本・実施設計（2,764万3千円）
- ・前川のカヌーコース整備（5,116万5千円）
- ・拠点整備に向けた機運醸成イベントの実施（671万円）



拠点施設と前川等周辺のイメージ図



拠点施設には、市アウトドア施設のインフォメーションセンター機能とともに、カヌー貸出ルームや準備室、カフェなどを備える予定



元カヌーオリンピックの安藤太郎さんをアドバイザーに前川カヌーコースを設計。将来は各種大会の会場にもなる予定。
(写真は前川でのカヌーキッズキャンプの様子)

②東山のにぎわい創出に向けた環境整備

- ・ 林道長峰線待避所設置工事（6,065万6千円）
- ・ 東山案内看板設置10箇所（275万円）
- ・ 長峰山山頂公衆トイレ建て替え工事の実施設計（209万6千円）
- ・ 長峰山天平の森のトイレ洋式化（235万円）
- ・ 長峰山登山口（長峰荘南）駐車場の新規整備（126万5千円）
- ・ 長峰山案内看板設置（73万円）
- ・ 長峰山展望台塗装（1,795万2千円）
- ・ 明科廃線敷に案内スポット看板と廃線敷マップ看板を設置（132万2千円）
- ・ 明科廃線敷で行う安曇野APPLEHALLOWEENイベントへの補助（200万円）
- ・ 光城山頂上へのベンチ新設（40万円）
- ・ 光城山登山口駐車場の拡張整備（427万1千円）



老朽化した長峰山山頂の公衆用トイレ。

東山の魅力の広まりと、光城山～長峰山間のトレッキングを楽しむ方が増加傾向。本トイレの利用者も多くなっていることからリニューアル工事を実施。R7設計、R8工事を行う予定



R6実施のAPPLE HALLOWEENイベントの様子。

明科廃線敷トンネル内をハロウィン仕様に飾りつけられた。市内外から多くの見学者が訪れた。



光城山の山頂にあるベンチ。

桜の時期を中心に来訪者が増加傾向のため、ベンチを新設



明科側から天平の森へ通じる長峰線。現状は車両のすれ違いが困難なほど狭いため、部分的に待避所を設置

◆北アルプスの山岳観光施設の整備

市西部の北アルプスは常念岳や燕岳などに代表される有名な山が連なっており、多くの登山客が訪れています。

市では常念岳や燕岳の登山関係施設の管理を行っているとともに、そこへ向かう登山口を3つ（常念岳＝一の沢登山口、三股登山口、燕岳＝中房登山口）有しており、登山客を気持ちよくお迎えできるような安全性・利便性を向上させるための整備を行っていきます。

① 登山口駐車場等の混雑解消に向けた取り組み

- ・ 登山口駐車場管理システム構築（3,988万6千円）
- ・ 山岳観光バス実証運行（穂高駅～三股登山口線）（226万8千円）
- ・ 三股駐車場路肩駐車防止用ポール設置（121万8千円）
- ・ 中房線登山車両誘導員配置（541万9千円）



混雑するハイシーズンの三股登山口駐車場



中房登山口付近道路の路肩への駐車が問題化



登山口駐車場付近にカメラを設置し、混雑状況をスマホなどを通じてリアルタイムでお知らせするシステムを構築。併せて代替駐車場の案内を行う。R7中に整備し、R8から運用開始予定。

R7は、穂高駅～三股登山口まで山岳観光バスの実証運行を実施

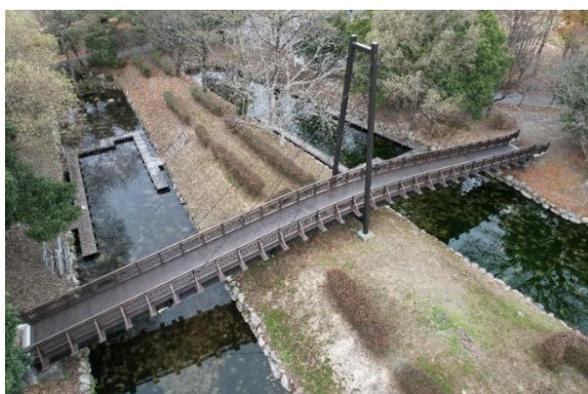
② 登山施設の安全性・利便性向上

- ・燕岳テント場トイレ修理（43万1千円）
- ・常念岳避難小屋施設修理（42万4千円）
- ・中房登山口公衆トイレ修理（440万円）

◆かじかの里公園の整備

キャンプも楽しみめ市内外から人気の施設であることから、かじか橋改修・トイレ等の施設改修・駐車場拡幅を中心に令和5年度から整備を進めています。令和7年度中には工事が完了し、リニューアルオープンとなります。

- ・駐車場整備工事（1,860万円）
- ・研修棟を管理棟への改修、栈橋の改修、遊具更新、インターロッキング等リニューアルなど（7,026万1千円）



きれいに生まれ変わったかじか橋（R5改修）



中央の改修後トイレ（R6改修）



手狭な既存駐車場の様子。懸案だった駐車場のキャパシティを確保し駐車可能台数が42台⇒77台に増加予定（R7改修）



池側から見た既存の公園遊具。R7に入替を予定

◆スポーツイベントと施設の充実

令和4年度にオープンした安曇野市マウンテンバイクコースは、年々利用者が増加し、市内でも愛好家が増えてきています。

本コースは令和8年7月開催予定の全日本自転車競技選手権大会開催候補地にもなっており、引き続き来場者増加に向けたPR活動を行っていきます。

また、屋外体育施設の照明LED化にも着手し、順次整備を進めていきます。

①自転車を活用したスポーツの活性化

- ・サイクリングイベントの実施（132万4千円）
- ・マウンテンバイク施設の充実（405万4千円）
- ・県サイクリングコース（ジャパンアルプスサイクリングロード）へのサイン設置（420万円）

自転車利用を促進するイベントとして、ママチャリで巡る市内食べ歩きツアーを計画しています。



R7はマウンテンバイク大会のスタート地点にもなる啼鳥山荘前林道周りの支障木を伐採するなど整備（写真はR6開催の3周年安曇野マウンテンバイクコースフェスティバルの様子）



子ども用のマウンテンバイクを13台購入し、数量を充実（購入後、子ども用20台、大人用10台保有）

②独自スポーツイベントの開催

- ・アーバンスポーツフェスティバル開催（100万円）
- ・前川ウォータースポーツ体験会（71万5千円）

アーバンスポーツとは…

言葉のとおり都市での開催が可能なスポーツ、つまり広い場所を必要とせず、個人で気軽に始めることができる。観客が近く、他にない迫力を感じられるのも魅力。

種目は、3×3、ブレイキン、スケートボード、ダブルダッチ、スラックラインなど

③屋外夜間利用施設照明のLED化

- ・穂高総合体育館テニスコート照明LED化工事（6,109万3千円）
- ・県民豊科運動広場、豊科南小グラウンド照明LED化設計（237万6千円）

【その他の取組み】

◆子どもの医療費18歳まで無料化

令和6年度まで18歳以下の医療費は1レセプト当たり500円の負担となっていました。18歳以下の医療費負担の無料化に取り組みます。子育て世帯の負担軽減を見込む施策で、令和7年4月診療分から適用します。

- ・自己負担無料化分（7,568万円）

◆加齢性難聴高齢者への補聴器購入助成

聴力低下によりコミュニケーション不足や閉じこもりにならないよう、心身の衰え（フレイル）を引き起こさないための支援として、低所得の高齢者（身体障がい者手帳交付対象外の方）に対し補聴器購入費の一部を補助します

- ・加齢性難聴高齢者補聴器購入助成事業（150万円）

◆ゼロカーボン施策の取組み

市地球温暖化対策実行計画で掲げる2030年度目標（CO2排出量を2013年度比で50%削減）の達成に向けて取り組みます。

PPA方式（電力購入契約）による公共施設等への太陽光発電設備の設置を引き続き推進します。令和7年度は、体育施設などに導入する予定です。

きのこの使用済み培地からバイオマス燃料を製造し熱供給することで、エネルギーの地産地消を図ります。令和7年度は、温浴施設にバイオマスボイラ設備を導入する予定です。

住宅用地球温暖化対策設備の設置を促進するため、太陽光発電システム等の補助件数を拡充します。また、新たに電気自動車の購入補助（10万円/件）を創設します（自宅に太陽光発電システムを導入すること、「災害時協力登録車制度（仮称）」に登録することが条件）。

公用車の電動化を推進するため、電気自動車及びハイブリッド自動車を各1台導入します。

市有施設の省エネルギー化に向けて、照明LED化に着手します。令和7年度は、文化施設や観光施設など12施設でLED化工事等を実施します。

- ・地域脱炭素化推進事業（2億3,167万2千円）
- ・住宅用地球温暖化対策設備の設置促進（2,732万5千円）
- ・公用車の電動化の推進（644万7千円）
- ・公共施設の照明LED化（2億2,208万円）

◆空き家対策

空き家の状態、戸数を把握し、空き家の抑制、適正管理の指導、利活用を促進するため、空き家戸数現地実態調査を行います。

第3次空き家等対策計画（R10～R14）のデータとして活用する他、地域おこし協力隊員による空き家の掘り起しや空き家活用イベントの開催、移住や創業、地域交流の場など多様な空き家活用を進め、地域活力の増進を目指します。

- ・空き家等対策事業（7,738万6千円）

◆物価高騰分の学校給食費を公費負担

食材の物価高騰に伴い給食材料費が増額していますが、保護者負担軽減の観点から増額分を公費負担します。（1食あたり小学校50円・中学校60円を公費負担）

- ・小中学校給食物価高騰分（7,388万4千円）

◆住民票等のコンビニ交付の推進

令和7年1月から住民票など窓口で扱う証明書類をコンビニ交付機で取得した場合、交付手数料を100円減額しています。（300円→200円、450円→350円）

夜間や休日でも取得可能で利便性の高いコンビニでの証明書交付に誘導することで、常時混み合っている窓口の混雑緩和を目指します。

◆プラスチック製品廃棄物の資源回収開始

令和6年度までプラスチック製品廃棄物（「プラマーク」以外のプラスチック製品）は燃えるごみ扱いになっていましたが、令和7年度から資源物として回収します。

プラスチック製品廃棄物がリサイクルされ、再製品として生まれ変わり、地球にやさしく、ごみの減量化につなげます。

- ・プラスチック使用製品廃棄物業者持ち込み料（800万8千円）

◆認定こども園の園庭芝生化

認定こども園の園庭を芝生化し、快適な保育環境のもとで、保育・教育の質の向上を目指します。

令和7年度は5園（豊科、豊科南部、南穂高、つつみ、堀金）の芝生化に取り組めます。

- ・園庭芝生化事業（1億8,884万9千円）

歳入・歳出予算の概要

1 歳入

区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%	
市税	122億2,337万3千円	112億7,595万6千円	9億4,741万7千円	8.4%	
	主な計上額		計上額	前年比	
			市民税現年課税分	48億1,500万円	7億6,700万円
			法人市民税現年課税分	7億3,500万円	0円
			固定資産税現年課税分	55億6,600万円	1億7,500万円
			種別割現年課税分	3億7,880万円	430万円
			市たばこ税現年課税分	5億6,500万円	0円
			入湯税現年課税分	5,485万円	0円
地方譲与税	5億3,918万9千円	5億3,049万5千円	869万4千円	1.6%	
	主な計上額		計上額	前年比	
			地方揮発油譲与税	1億1,700万円	△200万円
			自動車重量譲与税	3億9,100万円	800万円
			森林環境譲与税	3,118万9千円	269万4千円
地方消費税交付金	24億4,000万円	24億円	4,000万円	1.7%	
	主な計上額		計上額	前年比	
			地方消費税交付金	24億4,000万円	4,000万円
環境性能割交付金	6,400万円	5,800万円	600万円	10.3%	
	主な計上額		計上額	前年比	
			環境性能割交付金	6,400万円	600万円
地方特例交付金	1億1,500万円	5億3,300万円	△4億1,800万円	△78.4%	
	主な計上額		計上額	前年比	
			個人住民税減収補填特例交付金	1億1,500万円	△4億1,800万円
地方交付税	116億円	118億6,000万円	△2億6,000万円	△2.2%	
	主な計上額		計上額	前年比	
			普通交付税	109億6,000万円	△2億6,000万円
			特別交付税	6億4,000万円	0円
分担金及び負担金	2億9,979万8千円	2億9,368万8千円	611万円	2.1%	
	主な計上額		計上額	前年比	
			土地改良事業地元分担金	787万5千円	742万5千円
			保育児童保育料	1億6,830万7千円	△590万9千円
			児童クラブ負担金	3,805万7千円	400万2千円
			道路復旧費原因者負担金	5,000万円	0円
国庫支出金	58億2,888万3千円	45億5,138万3千円	12億7,750万円	28.1%	
	主な計上額		計上額	前年比	
			自立支援給付費負担金	9億4,189万2千円	3,229万2千円
			生活保護費国庫負担金	4億9,809万1千円	91万5千円
			児童扶養手当国庫負担金	8,727万7千円	△330万5千円
			児童手当国庫負担金	14億7,866万8千円	5億3,829万7千円
			子どものための教育保育給付費負担金	3億8,945万4千円	6,470万4千円
			個人番号カード交付事務費補助金	3,186万4千円	689万6千円
			地域少子化対策重点推進交付金	2,041万4千円	58万6千円
			第2世代交付金（地方創生 ソフト事業）	2,744万8千円	△1,167万3千円
			デジタル基盤改革支援補助金	1億7,653万6千円	1億6,878万1千円
			地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	2億3,167万2千円	5,974万1千円
			障害児入所給付費等負担金	2億5,534万2千円	3,034万2千円
			道路改良費補助金	5億4,257万円	2億1,452万7千円
			公営住宅等ストック総合改善事業補助金	2億2,821万1千円	1億3,869万3千円
			公営住宅等整備事業補助金	817万1千円	△3,668万4千円

区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%
県支出金	27億7,197万5千円	27億7,352万2千円	△154万7千円	△0.1%
	主な計上額		計上額	前年比
	子どものための教育保育給付費負担金		1億9,472万7千円	3,235万2千円
	自立支援給付費負担金		4億7,094万6千円	1,134万6千円
	児童手当県費負担金		1億7,354万7千円	△3,257万7千円
	保険基盤安定負担金		2億4,820万6千円	△1,222万2千円
	後期高齢者医療保険基盤安定負担金		2億4,233万7千円	258万9千円
	福祉医療給付事業補助金		2億7,340万9千円	△1,969万9千円
	子ども子育て支援交付金		7,824万2千円	2,468万9千円
	森林健全化推進事業補助金		6,991万6千円	△525万2千円
	多面的機能支払推進交付金		2億1,714万4千円	△656万7千円
	県民税徴収事務委託金		1億5,800万円	300万円
寄附金	3億円	3億150万円	△150万円	△0.5%
	主な計上額		計上額	前年比
	ふるさと寄附金		3億円	△150万円
繰入金	37億623万6千円	29億7,498万5千円	7億3,125万1千円	24.6%
	主な計上額		計上額	前年比
	財政調整基金繰入金		11億3,489万7千円	3億6,736万9千円
	減債基金繰入金		10億円	1億円
	公共施設整備基金繰入金		6億6,000万円	1億6,000万円
	地域振興基金繰入金		1億7,584万7千円	4,274万7千円
	ふるさと寄附基金繰入金		6億円	0円
	堀金観光開発基金繰入金		3,022万6千円	2,612万6千円
	福祉基金繰入金		1,585万6千円	△20万5千円
	安曇野市文化振興基金繰入金		1,540万8千円	581万9千円
	森林環境譲与税基金繰入金		2,540万9千円	1,709万8千円
市債 (うち借換債)	68億8,930万円	79億2,650万円	△10億3,720万円	△13.1%
	(13億9,440万円)	(28億800万円)	(△14億1,360万円)	
	主な計上額		計上額	前年比
	○旧合併特例事業債(30億760万円)			
	福祉センター事業(特例債)		1億6,570万円	1,470万円
	保育所建設事業(特例債)		5億5,070万円	1億1,630万円
	穂高健康支援センター改修事業(特例債)		3億2,180万円	3億1,720万円
	消防団詰所統廃合事業(特例債)		3,600万円	△5,030万円
	三郷堆肥センター解体事業(特例債)		3億3,810万円	7,750万円
	都市公園事業(特例債)		1億5,350万円	9,780万円
	市道新設改良事業(特例債)		4億7,640万円	1億2,550万円
	市道修繕事業(特例債)		7,820万円	△510万円
	洞合公園整備事業(特例債)		1億8,610万円	1億2,430万円
	豊科近代美術館大規模修繕工事事業(特例債)		4億2,790万円	1億3,640万円
	一般会計出資債(下水道分)(特例債)		1億6,500万円	4,650万円
	かじかの里公園改修事業(特例債)		1億820万円	1,120万円

	計上額	前年比
○過疎債（2億5,080万円）		
松糸アクセス道路事業（過疎債）	2,080万円	790万円
長峰山施設改修事業（過疎債）	2,400万円	皆増
明科駅前周辺整備事業（過疎債）	2,500万円	400万円
林道長峰線改良事業（過疎債）	6,060万円	皆増
過疎対策推進事業（過疎債ソフト）	1億1,400万円	8,910万円
明科地域づくり事業（過疎債ソフト）	200万円	30万円
文化団体補助事業（過疎債ソフト）	440万円	0円
○その他（22億3,650万円）		
保育所建設事業（施設整備事業債）	4億3,000万円	1億9,420万円
園庭芝生化事業（こども債）	1億6,150万円	皆増
児童館建設事業（こども債）	1億6,330万円	皆増
保育所施設整備事業（こども債）	1億3,520万円	皆増
幼稚園施設整備事業（こども債）	2,790万円	皆増
福祉センター事業（公適債）	1,290万円	皆増
社会就労センター改修事業（公適債）	1億4,460万円	皆増
障がい者支援センター改修事業（公適債）	1億1,240万円	皆増
電動車導入事業（脱炭素化債）	290万円	皆増
防災基盤整備事業債	360万円	△3,030万円
防災行政無線親局設備操作卓等更新事業（緊防債）	1億6,800万円	皆増
県衛星系防災行政無線設備更新工事一部負担金（緊防債）	1,670万円	皆増
県営かんがい排水事業（公共事業等債）	1,660万円	810万円
県営ほ場整備事業	700万円	皆増
県営新設改良事業（国土強靱化債）	2億20万円	3,180万円
内水対策事業（緊自債）	1億4,560万円	760万円
道路橋梁維持事業（緊自債）	6,000万円	0円
除雪融雪事業（緊自債）	1,000万円	0円
公営住宅建設事業債	3億6,320万円	3億340万円
体育施設照明取替工事（脱炭素債）	5,490万円	皆増
○臨時財政対策債（0万円）		
臨時財政対策債	0円	△8,900万円
○借換債（13億9,440万円）		
借換債（総務債・特例債）	2億4,700万円	△17億1,100万円
借換債（臨時財政対策債）	8億円	△5,000万円
借換債（教育債・旧合併特例事業債）	3億4,740万円	皆増

2 目的別歳出

区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%
議会費	2億6,182万3千円	2億4,919万1千円	1,263万2千円	5.1%
	主要な事業（主な内容） 議会費		計上額 2億6,182万3千円	前年比 1,263万2千円
区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%
総務費	53億1,658万8千円	46億1,278万4千円	7億380万4千円	15.3%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	一般管理費		10億4,974万1千円	5,554万6千円
	本庁舎管理費		2億6,186万円	1,022万円
	寄附採納事務		4億5,339万5千円	972万5千円
	職員管理総務費		9億4,607万3千円	8,458万3千円
	AED維持管理費		668万6千円	△1,289万7千円
	土地の鑑定評価及び評価体系集約化事業		3,677万3千円	2,821万9千円
	小説「安曇野」による地域振興事業			△429万3千円
	過疎対策推進事業		1,270万2千円	△280万8千円
	公共交通事業		1億7,322万円	59万6千円
	安曇野ナンバー推進事業		263万4千円	145万9千円
	国際友好交流事業		37万5千円	△1,092万4千円
	広報広聴事業		5,431万7千円	585万3千円
	インターネット広報事業		717万8千円	△46万1千円
	電算システム管理運営事業		5億6,033万6千円	2億2,405万2千円
	DX推進事業		1,416万3千円	△281万8千円
	人権啓発費		1,823万5千円	△149万4千円
	区等地域力向上事業		1億2,438万5千円	72万4千円
	交通安全対策推進事業		1,486万円	△41万3千円
	水資源対策事業		3,049万7千円	△27万4千円
	結婚応援事業		3,064万7千円	66万8千円
	移住定住推進事業		6,043万7千円	2,725万3千円
	市長・市議会議員選挙費		1億908万円	皆増
区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%
民生費	174億5,544万円	153億972万7千円	21億4,571万3千円	14.0%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	自立支援給付事業		19億2,843万円	6,522万7千円
	障害児通所支援給付事業		5億1,068万4千円	6,068万4千円
	地域生活支援事業		6,651万8千円	339万7千円
	障がい者相談支援事業		519万3千円	325万3千円
	障がい者支援センター改修事業		1億6,593万7千円	1億5,371万1千円
	社会福祉総務費		2億8,816万6千円	2,779万7千円
	穂高地域福祉センター改修事業		2億2,791万5千円	6,893万4千円
	福祉医療費給付事業		7億4,774万2千円	4,422万1千円
	子ども学習支援事業		1,032万円	3千円
	生活保護費給付事業		6億1,343万2千円	33万円
	穂高社会就労センター改修事業		1億6,351万3千円	1億5,261万3千円
	老人福祉総務費		1億6,630万5千円	978万2千円
	介護保険特別会計繰出金		14億7,647万1千円	3,656万円
	国保会計繰出金		5億5,376万6千円	△3,959万3千円
	後期高齢者医療事業		15億6,915万4千円	5,793万6千円
	家庭児童相談事業		1,965万1千円	245万7千円
	児童手当給付事業		18億2,626万円	4億7,312万6千円
	児童扶養手当給付事業		2億6,197万円	△1,018万4千円
	児童発達支援事業		2,095万2千円	△348万2千円
	地域子育て支援拠点事業		150万円	0円
	ファミリーサポート事業		1,218万8千円	173万7千円
	豊科児童館整備事業		2億412万円	4,990万2千円
	三郷小児童クラブ整備事業		1,624万4千円	111万6千円
	豊科認定こども園改修事業		1億5,032万6千円	皆増
	あづみの自然保育ブランディング事業		3万7千円	△262万7千円
	児童館運営事業（民間委託事業）		3億9,718万5千円	3,200万2千円
	三郷東部認定こども園建設事業		10億5,992万1千円	5億7,597万2千円
	園庭芝生化事業		1億8,884万9千円	1億13万7千円
	公立認定こども園管理費		17億8,285万9千円	1億4,043万4千円
	公立認定こども園保育業務委託事業		1億1,112万9千円	440万2千円
	公立認定こども園給食運営費		4億5,177万8千円	4,353万6千円
	子どものための教育・保育給付費		8億1,162万3千円	1億2,702万3千円

区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%	
衛生費	33億5,790万6千円	27億2,181万2千円	6億3,609万4千円	23.4%	
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比	
			環境基本計画推進事業	1,148万9千円	△91万6千円
			地域脱炭素化推進事業	2億3,167万2千円	5,974万1千円
			地球温暖化対策事業	2,824万4千円	611万円
			環境衛生総務費	2億6,878万8千円	3,269万2千円
			廃棄物収集運搬事業	3億7,388万2千円	△318万9千円
			穂高広域施設組合事業	3億5,003万6千円	△1,124万2千円
			空家等対策事業	7,738万6千円	2,261万5千円
			予防接種事業	6億2,296万4千円	1億9,545万3千円
			任意予防接種支援事業	2,194万3千円	△957万1千円
			不妊・不育症治療費助成事業	1,920万円	△640万円
			穂高健康支援センター改修事業	3億3,878万6千円	3億3,386万7千円
			成人検診事業	8,136万8千円	△372万7千円
			健康増進事業	2,144万7千円	313万円
			母子・子育て支援事業	1億1,769万9千円	1,345万7千円
区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%	
労働費	6,183万4千円	6,139万9千円	43万5千円	0.7%	
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比	
			安曇野市勤労者互助会運営事業	425万円	0円
			勤労者支援事業	5,280万円	0円
			ふるさとハローワーク管理事業	465万円	43万5千円
区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%	
農林水産業費	21億893万2千円	21億8,954万7千円	△8,061万5千円	△3.7%	
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比	
			農業総務費	1億4,668万円	277万1千円
			農業・農村計画事業	1,466万7千円	540万8千円
			環境保全型農業推進支援事業	390万1千円	66万7千円
			市農業振興作物等推進事業	6,630万4千円	△8万2千円
			畜産農家支援事業	571万8千円	△1,039万円
			三郷堆肥センター解体事業	3億5,654万2千円	531万7千円
			農産物等販路拡大事業	2,643万3千円	139万5千円
			農産物直売所・加工所等運営事業	2,402万6千円	△278万4千円
			担い手・集落支援事業	4,411万3千円	△327万円
			農地保全活動交付金（多面的機能支払）	2億9,018万5千円	△834万3千円
			農業施設維持工事（市単）	5,347万5千円	509万1千円
			農業用排水路工事・農道舗装工事（団体営）	3,760万1千円	415万3千円
			ほ場整備負担金（経営体育成基盤整備）	1,599万3千円	△1億1,376万7千円
			有害鳥獣駆除対策事業	6,105万7千円	858万1千円
			松くい虫防除対策事業	1億4,530万9千円	△84万5千円
			里山再生計画推進事業	1,086万円	482万2千円
			森林造成事業（補助）	2,145万9千円	△1,180万6千円
			市有林森林整備事業	1,879万3千円	△175万2千円
			林道重点整備・維持管理事業	5,375万7千円	456万9千円
			長峰山森林体験交流センター事業	2,505万2千円	269万4千円
			農業委員会事業	8,661万円	△28万6千円

区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%
商工費	27億4,049万3千円	27億3,713万2千円	336万1千円	0.1%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	地域総合振興事業		4,540万円	△110万円
	駅関連施設管理事業		2,357万1千円	898万1千円
	商業事業者支援事業		2,130万円	889万円
	商工総務費		2億5,673万円	4,823万4千円
	制度資金貸付事業		15億7,509万1千円	△1億7,210万8千円
	しごと創出事業		2,060万5千円	177万7千円
	企業サポート事業（工業系）		1,021万6千円	0円
	企業助成事業		2億273万4千円	4,639万円
	ハーフマラソン事業		4,400万7千円	382万1千円
	安曇野ブランド創出事業		455万円	162万4千円
	来訪者受入環境整備事業		1,558万8千円	△686万3千円
	観光推進組織支援等事業		9,475万円	1,279万8千円
	観光プロモーション事業		3,689万3千円	△1,221万6千円
	登山道等整備事業		7,560万4千円	16万3千円
	観光施設公園管理事業		6,061万9千円	1,893万9千円
	かじかの里公園改修事業		1億1,406万5千円	1,187万9千円
	廃線敷施設維持点検管理事業		879万2千円	△35万8千円
区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%
土木費	61億7,370万7千円	52億4,889万7千円	9億2,481万円	17.6%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	豊科南部総合公園管理運営事業		7,787万5千円	4万4千円
	市道新設改良事業（松糸道路関連）		6,750万円	4,040万円
	内水対策事業		1億4,565万円	765万円
	市道新設改良事業（市単独）		2億5,690万円	△5,661万4千円
	市道新設改良事業（合併特例債）		2億6,400万円	△881万円
	市道新設改良事業（交付金）		5億2,090万円	3億1,100万円
	県営新設改良事業負担金		5億350万円	8,705万円
	河川改修事業		6,190万円	710万円
	道路維持作業車整備事業		191万6千円	△29万円
	道路橋梁維持事業		3億5,864万9千円	592万3千円
	道路橋梁修繕事業（交付金）		2億6,245万円	4,145万円
	除雪融雪事業		1億7,074万8千円	918万円
	交通安全施設整備事業		3,117万5千円	0円
	河川維持事業		1,775万8千円	144万2千円
	駅周辺整備事業（市単独）		3,489万2千円	△1,928万4千円
	都市計画総務費		2億4,103万3千円	4,085万5千円
	土地利用制度		85万2千円	△1,383万4千円
	都市再生整備計画事業（明科駅周辺）		2,571万8千円	311万9千円
	公園施設長寿命化事業		2億6,044万6千円	1,992万6千円
	東部アウトドア拠点整備事業		1億3,922万1千円	8,031万2千円
	住宅・建築物耐震改修促進事業		4,871万4千円	2,105万8千円
	公営住宅整備事業		6億4,139万8千円	2億6,007万9千円
	下水道事業繰出金		13億2,522万7千円	387万8千円
	下水道施設統廃合事業		1億6,500万円	4,650万円
区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%
消防費	16億9,574万4千円	15億8,004万6千円	1億1,569万8千円	7.3%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	防災行政無線設備新設・更新事業		1億8,235万3千円	1億6,203万4千円
	防災組織支援事業		550万2千円	0円
	常備消防負担金事業		10億7,159万8千円	4,738万3千円
	非常備消防運営事業		1億6,167万7千円	453万5千円
	消防団詰所更新・統廃合事業		4,407万3千円	△5,042万7千円
	防災啓発事業		901万1千円	△597万4千円

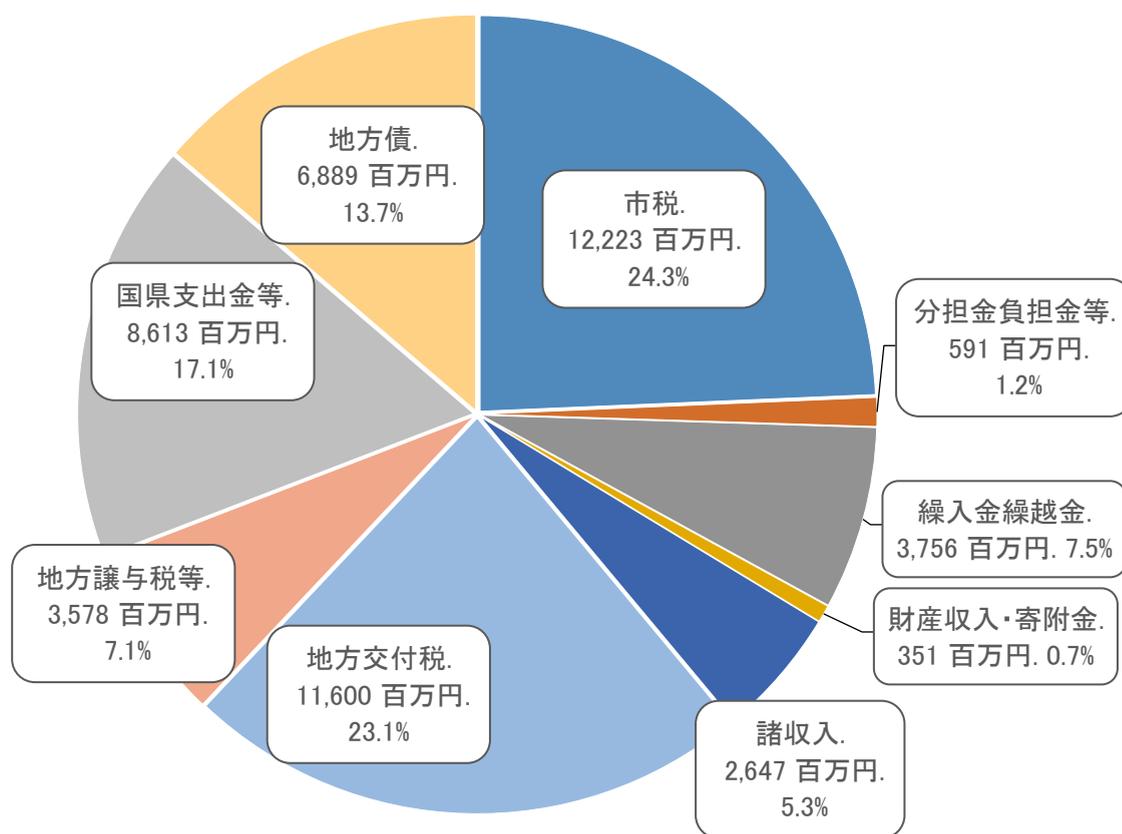
区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%
教育費	50億9,292万円	67億4,936万円	△16億5,644万円	△24.5%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	社会体育施設管理費		1億2,717万円	509万1千円
	国民スポーツ大会実施運営事業費		812万2千円	700万6千円
	マウンテンバイクコース管理費		2,427万4千円	108万5千円
	キャリアフェスティバル推進事業		522万3千円	5万1千円
	体育施設LED化事業		6,346万9千円	皆増
	学校支援員配置事業		2億4,764万5千円	2,799万9千円
	外国語指導助手配置事業		6,019万4千円	301万円
	事務局費総務		2億1,123万1千円	774万7千円
	中学校施設維持修繕事業		5,158万円	2,108万9千円
	教育支援センター運営事業		2,614万円	382万1千円
	スクールバス運行事業		1億2,839万9千円	689万7千円
	三郷小学校施設改修事業		0円	△6億5,473万7千円
	学校システム管理事業		6,993万8千円	1,591万8千円
	コミュニティスクール事業		531万3千円	50万9千円
	小学校情報教育推進事業		7,468万7千円	△2,812万円
	中学校情報教育推進事業		6,391万4千円	909万6千円
	中央公民館事業		7,894万6千円	△256万8千円
	三郷公民館長寿命化事業		0円	△4億6,515万6千円
	芸術教育普及事業		1,455万7千円	241万7千円
	文化芸術施設整備事業		3,315万5千円	2,246万1千円
	豊科近代美術館大規模修繕工事事業		4億5,045万円	1億4,356万3千円
	市誌編さん事業		1,248万9千円	867万円
	安曇野市文化振興基金積立		1,400万円	0円
	明科子どもと大人の交流学習施設空調機器更新事業		0円	△1億6,418万3千円
	新市立博物館準備事業		498万2千円	435万4千円
	穂高鐘の鳴る丘集会所施設整備事業		0円	△2億3,782万4千円
	文化財保全事業		1,342万6千円	11万6千円
	図書館資料収集事業		2,810万2千円	8万1千円
	給食センター総務費		7億8,369万5千円	1,930万3千円
	堀金給食センター設備更新事業		0円	△3億6,362万3千円
	黒沢洞合自然公園整備事業		1億9,950万2千円	1億2,687万3千円
区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%
災害復旧費	300万7千円	750万円	△449万3千円	△59.9%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	災害復旧事業		150万円	△600万円
区分	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率%
公債費	59億3,160万6千円	74億1,260万5千円	△14億8,099万9千円	△20.0%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	長期借入金償還元金		57億9,228万8千円	△15億1,067万円
	（上記のうち、地方債借換分	13億9,440万円）		
	長期借入金償還利子		1億3,781万8千円	2,967万1千円

歳入

(単位：千円・%)

款	歳入項目	令和7年度	令和6年度	増減	増減率
01	市税	12,223,373	11,275,956	947,417	8.4
02	地方譲与税	539,189	530,495	8,694	1.6
03	利子割交付金	6,000	3,000	3,000	100.0
04	配当割交付金	59,000	50,000	9,000	18.0
05	株式等譲渡所得割交付金	104,000	61,000	43,000	70.5
06	法人事業税交付金	217,000	199,000	18,000	9.0
07	地方消費税交付金	2,440,000	2,400,000	40,000	1.7
08	ゴルフ場利用税交付金	34,000	35,000	△ 1,000	△ 2.9
09	環境性能割交付金	64,000	58,000	6,000	10.3
10	地方特例交付金	115,000	533,000	△ 418,000	△ 78.4
11	地方交付税	11,600,000	11,860,000	△ 260,000	△ 2.2
12	交通安全対策特別交付金	11,900	11,900	0	0.0
13	分担金及び負担金	299,798	293,688	6,110	2.1
14	使用料及び手数料	291,624	304,484	△ 12,860	△ 4.2
15	国庫支出金	5,828,883	4,551,383	1,277,500	28.1
16	県支出金	2,771,975	2,773,522	△ 1,547	△ 0.1
17	財産収入	51,385	51,927	△ 542	△ 1.0
18	寄附金	300,000	301,500	△ 1,500	△ 0.5
19	繰入金	3,706,236	2,974,985	731,251	24.6
20	繰越金	50,000	50,000	0	0.0
21	諸収入	2,647,337	2,684,660	△ 37,323	△ 1.4
22	市債	6,889,300	7,926,500	△ 1,037,200	△ 13.1
	計	50,250,000	48,930,000	1,320,000	2.7

歳入目的別内訳



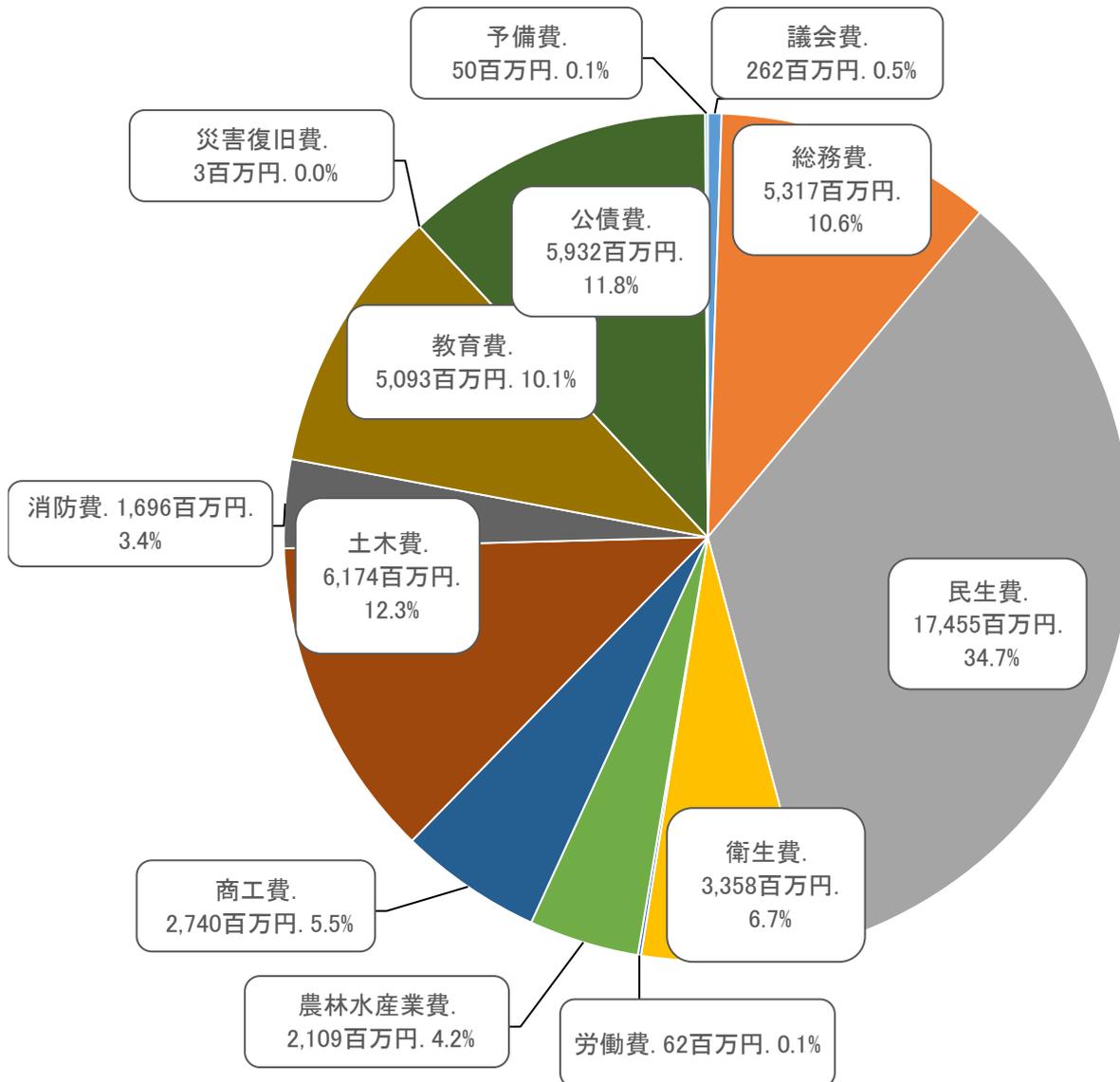
※百万円未満四捨五入により、構成比の合計が100%とならない場合があります。
 ※百万円未満四捨五入により、金額の合計が一致しない場合があります。

歳出（目的別）

（単位：千円・％）

款	歳出項目	令和7年度	令和6年度	増減	増減率
01	議会費	261,823	249,191	12,632	5.1
02	総務費	5,316,588	4,612,784	703,804	15.3
03	民生費	17,455,440	15,309,727	2,145,713	14.0
04	衛生費	3,357,906	2,721,812	636,094	23.4
05	労働費	61,834	61,399	435	0.7
06	農林水産業費	2,108,932	2,189,547	△ 80,615	△ 3.7
07	商工費	2,740,493	2,737,132	3,361	0.1
08	土木費	6,173,707	5,248,897	924,810	17.6
09	消防費	1,695,744	1,580,046	115,698	7.3
10	教育費	5,092,920	6,749,360	△ 1,656,440	△ 24.5
11	災害復旧費	3,007	7,500	△ 4,493	△ 59.9
12	公債費	5,931,606	7,412,605	△ 1,480,999	△ 20.0
13	予備費	50,000	50,000	0	0.0
	計	50,250,000	48,930,000	1,320,000	2.7

歳出目的別内訳

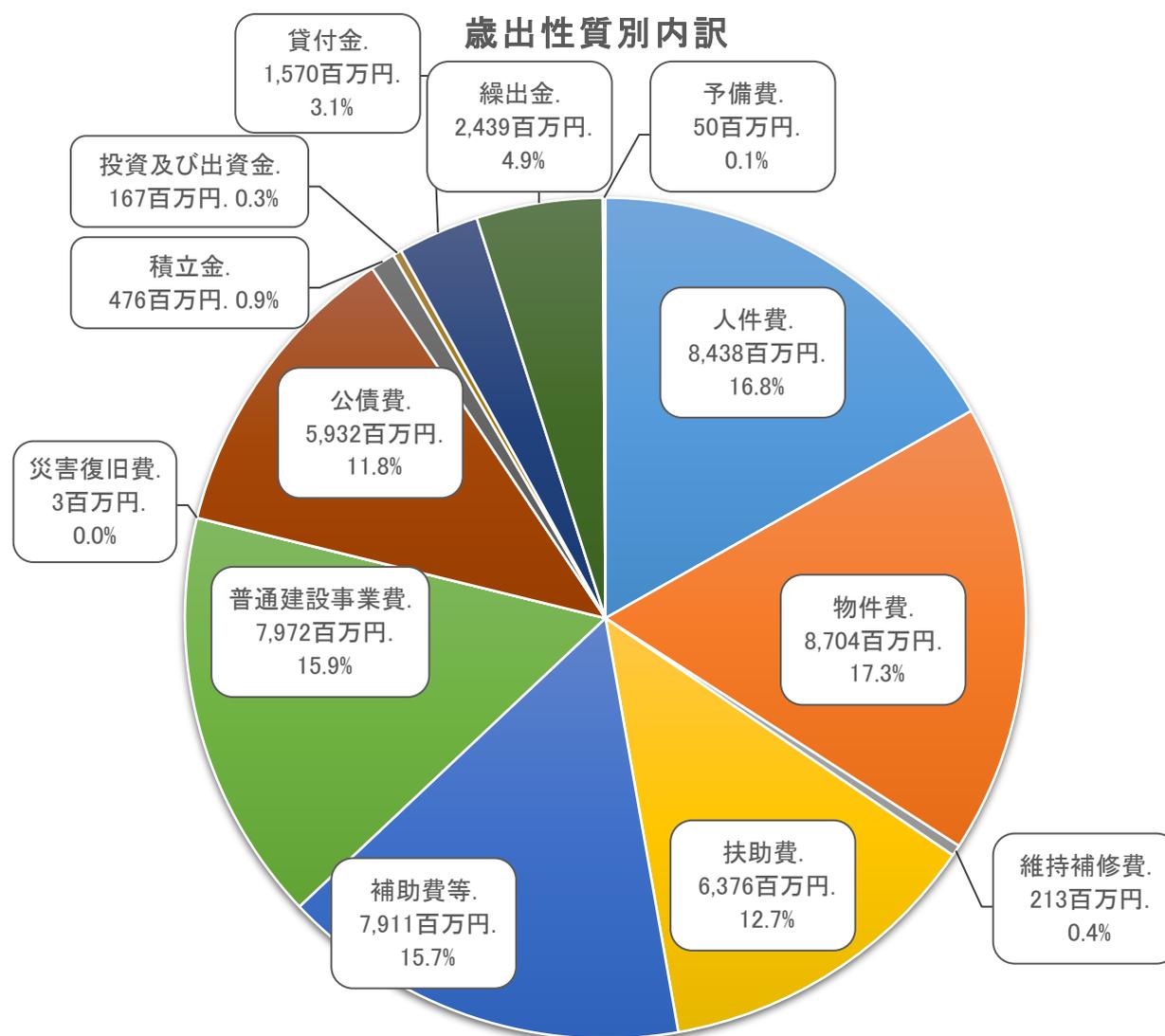


※百万円未満四捨五入により、構成比の合計が100%とならない場合があります。
 ※百万円未満四捨五入により、金額の合計が一致しない場合があります。

歳出（性質別）

(単位：千円・%)

性質	令和7年度	令和6年度	増減	増減率
人件費	8,438,172	7,799,995	638,177	8.2
物件費	8,703,669	7,928,551	775,118	9.8
維持補修費	213,177	171,983	41,194	24.0
扶助費	6,376,138	5,726,657	649,481	11.3
補助費等	7,910,906	7,568,061	342,845	4.5
普通建設事業費	7,971,541	7,489,045	482,496	6.4
災害復旧費	3,007	7,500	△ 4,493	△ 59.9
公債費	5,931,606	7,412,605	△ 1,480,999	△ 20.0
積立金	476,350	468,316	8,034	1.7
投資及び出資金	166,500	118,500	48,000	40.5
貸付金	1,570,140	1,766,339	△ 196,199	△ 11.1
繰出金	2,438,794	2,422,448	16,346	0.7
予備費	50,000	50,000	0	0.0
計	50,250,000	48,930,000	1,320,000	2.7



※百万円未満四捨五入により、構成比の合計が100%とならない場合があります。
 ※百万円未満四捨五入により、金額の合計が一致しない場合があります。

4 債務負担行為

(単位：千円)

事 項	期 間	限 度 額
議会会議録調製等業務	令和8年度まで	9,589
安曇野市議会だより印刷	令和8年度まで	5,400
市議会本会議インターネット中継システム使用	令和8年度から令和11年度まで	13,640
会議録検索システム運用等業務	令和8年度から令和11年度まで	7,076
安曇野市ホームページシステム利用料	令和8年度から令和12年度まで	42,650
総合計画等策定支援業務	令和8年度から令和10年度まで	16,000
第2次安曇野市水環境基本計画・行動計画策定支援業務	令和8年度まで	12,760
住民基本台帳ネットワークシステム機器賃貸借	令和8年度から令和12年度まで	45,120
住民基本台帳ネットワークシステム機器保守業務委託	令和8年度から令和12年度まで	18,588
財務会計・文書管理システム更新事前準備作業	令和8年度まで	65,010
基幹系システムソフトウェア使用契約	令和8年度から令和12年度まで	282,181
基幹系システムソフトウェア保守業務委託	令和8年度から令和12年度まで	99,687
基幹系システム機器保守業務委託	令和8年度から令和12年度まで	36,144
LGWAN機器賃貸借	令和8年度から令和12年度まで	24,930
基幹系システム機器賃貸借	令和8年度から令和12年度まで	343,326
確定申告・個人住民税申告受付及び入力処理業務委託	令和8年度まで	7,567
納税コールセンター業務委託	令和8年度から令和12年度まで	39,270
戸籍システム機器賃貸借	令和8年度から令和12年度まで	9,990
障がい者活動支援センター・高齢者集会施設大規模改修工事	令和8年度まで	195,513
市立認定こども園保育業務支援システム運用保守業務委託	令和8年度まで	5,346
地域資源活用ビジネス創生事業	令和8年度まで	3,740
リモートワーク支援事業	令和8年度まで	9,972
緑の基本計画改定業務委託	令和8年度まで	3,157
東部アウトドア拠点機運醸成イベント等実施支援事業	令和8年度まで	4,400
前川カヌーコース整備工事	令和8年度まで	60,000
消防車両更新事業	令和8年度まで	33,140
オンライン国際交流業務	令和8年度から令和9年度まで	4,436
中学校電子黒板等賃貸借	令和8年度から令和12年度まで	115,873
市立穂高幼稚園保育業務支援システム運用保守業務委託	令和8年度まで	297

令和7年度安曇野市各会計当初予算額一覧

(単位：千円・%)

会 計 名	令和7年度	令和6年度	比 較	対前年度 比率
安曇野市一般会計	50,250,000	48,930,000	1,320,000	2.7
安曇野市国民健康保険特別会計	9,391,481	9,378,058	13,423	0.1
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,704,684	1,637,965	66,719	4.1
安曇野市介護保険特別会計	10,230,754	10,068,784	161,970	1.6
安曇野市上川手山林財産区特別会計	1,831	1,827	4	0.2
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	791	790	1	0.1
安曇野市有明山林財産区特別会計	774	771	3	0.4
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	701	700	1	0.1
安曇野市穂高山林財産区特別会計	731	730	1	0.1
安曇野市産業団地造成事業特別会計	2,243	5,185	△ 2,942	△ 56.7
安曇野市有明荘特別会計	29,971	17,991	11,980	66.6
特別会計合計	21,363,961	21,112,801	251,160	1.2
総 計 (一般会計+特別会計)	71,613,961	70,042,801	1,571,160	2.2

会 計 名 等	令和7年度 当初予算	令和6年度 当初予算	比 較	対前年度 比率	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,263,773	2,287,175	△ 23,402	△ 1.0
	収益的支出	2,073,159	2,049,943	23,216	1.1
	資本的収入	276,030	220,700	55,330	25.1
	資本的支出	1,998,654	2,032,813	△ 34,159	△ 1.7
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	3,780,829	3,751,783	29,046	0.8
	収益的支出	3,761,931	3,715,318	46,613	1.3
	資本的収入	2,306,130	1,596,847	709,283	44.4
	資本的支出	3,376,673	3,168,888	207,785	6.6